

シャロンの花だより

東教区女性会会報 第84号 (22期 第4号)

2014年3月1日

主題「虹の架け橋」 ～祈り・仕え合うことで繋がりを～

「わたしは雲の中にわたしの虹を置く。

これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。」創世記9章13節

「きぼう」

テモテへの手紙 一 4:6-16

千葉教会牧師 小泉 嗣

テモテへの手紙の著者は「希望」について語ります。「自らが歩んでいる道も、あなたたちが歩んでいる道も、必ず主なる神が与えて下さる『命』につながる、主の言葉に依り、立ち、歩むように」と、励まします。

一般に希望というと、個人が期待しているものにすぎないと考えられますが、聖書が語る希望は個人的な願望や妄想ではなく、神が救いを完成して下さるその時を待ち望むことをいいます。もし希望が、私個人が考え、私個人のものとして、私個人のためだけにあったとするならば、私が困難に陥り本当にその歩みを進めることができなくなった時に、もしかするとそこには絶望しか残らないかもしれません。しかし、希望が私個人の考えやものではなく、主が救いを完成して下さるという約束の言葉であるとするならば、それはもはや私を超えて、私の絶望を超えて、そこに確かに存在するものとなります。

権名麟三に洗礼を授けたことでも知られる赤岩栄という牧師は次のような言葉を残しています。「牧師であるということは、水平線の彼方に人々の注意を向けるために石を投げるといことなのだが、むろん、その石はきまって、水平線のこちら側、しかも、ずっと手前に落ちてしまうのである。しかし、真の牧師は、また新しい石をとって、水平線をキッとにらみながら、今度こそは、水平線の彼方に届かせて見せるとばかり、思い切ってその石を投げるのである。むろん、その石もまた、足もと数十尺のところ落ちるにすぎない。しかし彼はこの愚行をやめないのである。子どものいたずらでしかないこの愚行の反復に、彼の生涯を賭けているのである」。

これはキリスト者にも言えることで、私たちは真理の水平線に向かって石を投げ続けるのです。もちろん、私たちの限界があり、弱さがあり、さらに世界は複雑で、私たちの投げる石は残念ながら真理に届くはずもなく、私たちの目の前に落ちるでしょう。しかし、だからといって、自分にも、世界にも落胆せず、真理に届けと力いっぱい石を投げ続ける…。たとえ届かなくとも、その先に必ず神の救いがあり、その救いは必ず訪れる、何より石を投げる力を、主は私たちに備えてくださっている。そこには希望があるのです。

折がよくても悪くても、年が老いていても若くても、私たちには希望がある、与えられた希望がある、真理に向かって石を投げる力がある…。主に励まされ、主と共に、皆と共に、希望に向かって歩みを進めてまいりましょう。



会長会報告

会長会に参加して

根本明子 (大森教会)

小雨の降る中、たどり着いたのは、とてもかわいらしい雰囲気
の教会でした。

私たちが着いた時には物販があり、人が結構いらして賑やかでしたが、そろそろ始まる頃には静かになり、全員が落ち着いた雰囲気
で礼拝が始まりました。小泉先生の説教がとてもすばらしく、参加者の心が十分満たされ、終わってからも皆さんが口々に説教のことを話されていました。

続いて、野口先生の報告がありました。スライドを用いて、一枚一枚丁寧に説明してくださいました。私は当時を思い出し、胸が詰まる感じ

でした。震災の翌日から毎日テレビを見ては涙を流し、いろいろ考え、苦しんだことを思い出しました。この災害は東教区内で起きたこと、もっとかかわるべきではなかったのか？たとえ一人でもかかわるべきではなかったのか等々。今後の宿題のような気がしました。続いて前浜センターの再建について畠山氏のお話を伺いました。ルーテルがかかわっているということが、とてもうれしく、またスタッフの方々のがんばりが少しでも、皆さんに伝わったのではないかと思います。

キャロル先生の澄んだ歌声とハープは、もやもやとした心を解放してくださいました。曲はグレゴリオ聖歌アニュスデイ。その後、先生のご指導の下、3曲①Ubi Caritas 慈しみと愛のあるところ 神ともに、②O Lord, Hear My Prayer③、父よゆだねます私のすべて父よゆだねますあなたのみてに、を全員で熱唱しました。さすが、その歌声はすばらしいものがありました。約1名私を除いて。

有意義な一日を感謝しつつ帰路に着きました。



神学校支援 手芸品販売

手芸品 製作・販売報告「思いを合わせて」

東教区女性会会長 浅野聖子



ベル、ツリー、サンタさんの
オーナメント

昨年に引き続き、今年も神学校支援として皆様のご協力の下、クリスマスオーナメント等の製作・販売を行うことが出来、心から感謝いたします。今年は皆様から寄せていただいたアイデアにより、可愛いサンタさん、ツリー、ベル、アクリルたわし等が 800 点以上届けられました。神学校支援という一つの目的のため、それぞれ離れたところから思いを合わせ、工夫されたたくさんの作品が送られてきて、本当に嬉しく感激しました。

皆様からのお気持ちを大切に、私達役員も気持ちを引き締め、一日神学校・秋の会長会・宗教改革記念日に販売し、大勢の方々にご購入いただきました。また、今年は新しい試みとして、書記担当役員の大牧正子姉から女性会・婦人会会長様宛に E メール或いは FAX で、若干まだ残数がありましたので「製作品販売のお知らせ」を送信してもらいましたところ、ほぼ完売いたしました。(ネット販売

でしょうか?)

その結果、昨年を上回る、純収益 147,556 円を得ることが出来、ルーテル学院・神学校にお献ぎ出来たことを、皆様へのお礼と合わせてご報告いたします。様々な形でご協力くださり、ありがとうございました。

サバ神学校支援

「サバ神学校を訪問して」

立石節子（八王子教会）

創立 25 周年記念式典と卒業式に招待を受け、マレーシアのコタキナバルにあるサバ神学校を訪問しました。マレーシアの国教は、イスラム教です。朝早くから拡声器を通しての大きなコーランの声で目を覚まされます。そのような中であって世界宣教を目指してマレーシアのサバ神学校は、元気いっぱいです。

今までの私のサバ神学校への認識は、木造の小さな講堂での卒業式や、卒業生の牧会している教会はジャングルの中を小さなボートで行く辺境の地、というようなイメージでした。ところが立派な設備の整った鉄筋コンクリートの講堂、世界宣教を目指しての語学を重視した教育がなされているのです。出席した礼拝も、青少年向けであるためか、シンセサイザーや、太鼓まで使い、元気溢れる礼拝でした。25 周年記念式典も卒業式も礼拝も現地語を現代標準中国語と英語の 2 ケ国語に通訳して行われました。長い長い礼拝です。

サバ神学校 25 年間のうち、20 年間をルーテル教会女性会連盟は、奨学金を送り続けています。それは、貧しい家庭出身の学生を育て未開の地へ宣教する為に遣わされるのに用いられてきました。今は、世界宣教へと志をもった学生を育てているとのこと。現実には厳しい環境の中で育てて派遣されている牧師に会い活躍されている様子に、女性会連盟の働き確かさと素晴らしさを覚えました。今までは、年間 500 円のサバ神学校への献金をこれほどの重みと思いをもち奉げた事はありませんでした。

「百聞は一見にしかず」

渡理聖以（八王子教会）

八王子教会女性会に入会した時、会費封筒下に（サバ神学校献金を含む）と書かれていた。理解しないまま 6 年間払ってきた。なので、サバ神学校式典への参加募集の記事に即行くべし！と決断。うう～ん？ 2010 年 1 月の共同通信より、「マレーシアのカトリック・プロテスタント教会が放火される」このニュースを思い出した。ここ数年、宗教・人種間の対立が目立つようになってきたらしい。マレーシアは多民族社会。人口 2700 万。マレー系 66%、中国系 26%、インド系 8%。国教はイスラム教。毎朝、ミナレットからコーランが流れます。マレーシアのキリスト教徒は人口の 1 割。イスラム教徒は 6 割。

式典に参加して、言語は必ず 3 ケ国語（英語・中国語・マレー語）で説明され、中国系マレー人はマレー系民族衣装を着け、マレー系民族楽器を用いて、マレー系民族曲を奏でる。中国系教授陣の大半がマレー語を完璧に習得しています。すごく気を遣っているんだなあ！

さあっ！日本福音ルーテル教会女性会の海外宣教！ 20 年間のサバ神学校への支援。現在マレー系信徒数 25000 人に牧師 60 名。1 人が 4 つの教会を兼務。今なおボルネオの密林で宣教活動をしている中国系・マレー系牧師の働きがある。短期間のわたしも「世界宣教」の働きの一人として関わらせて頂いていたんだ。「百聞は一見にしかず」だね。

最後に、サバ神学校から日本福音ルーテル教会へ「祈りの支援」の必要性を痛感した。

（資料参考：産経ニュース 2013.10.15、AFP ニュースより 2010.1.9）



会計報告

東教区女性会 22期 決算(2013年) 予算(2014年)

単位 円

	費目	2013年度 予算	2013年度 決算	2014年 予算(案)	2013年度内訳
収	東教区会費	588,000	594,000	582,000	1,200×495人 *2014年は、485人として予算案作成
	教区便り購読費	20,000	20,800	21,000	100×210部・・・210部として予算案作成
	教区活動支援献金	170,000	224,040	200,000	21教会+3個人=91,660 席上献金=(65,460+63,020)
	感謝献金	50,000	197,506	50,000	10教会、クリスマスオーナメント・ブローチ(147,556)
	コーヒーショップ	50,000	81,314	100,000	教区総会 70,314 指定献金 11,000 *予算は全国総会を含む
入	雑収入	500	3,002	500	利息 普通(4/1~10/1) 定額(1/15) 天然水売上差益
	仮受金		71,600		3教会誤送金
	小計	878,500	1,192,262	953,500	
	前年度繰越金	1,087,423	1,087,423	1,071,502	
	収入合計	1,965,923	2,279,685	2,025,002	
支	教区便り	15,000	12,755	50,000	印刷・発送等
	会議費	90,000	101,600	100,000	講師謝礼, オルガニスト, 説教, 菓子
	交通費	250,000	232,610	250,000	役員会10回, 会長会2回, 甲信地区訪問2名, 等
	教区交流費	120,000	79,366	120,000	遠距離教会への交通費補助
	地区活動費	60,000	30,000	60,000	甲信地区
	次世代育成支援金	80,000	72,130	80,000	T N G, 神学生手帳(10冊)
	通信事務費	25,000	8,988	20,000	事務費 切手 メール便 封筒等
	慶弔費	15,000	5,000	15,000	
	予備費	2,000	0	20,000	
	支援献金	160,000	413,676	160,000	大震災, 東京・千葉ベタニア, ほしくずの会, 東京老人ホーム, ブラジル伝道, 神学校
	連盟総大会積立金	100,000	100,000	100,000	積立金会計繰り入れ
	東教区総会積立金	70,000	70,000	70,000	積立金会計繰り入れ
	コーヒーショップ	10,000	9,723	10,000	
	雑費	5,000	735	4,000	送金手数料
	仮受金		71,600		3教会誤送金返金
	小計	1,002,000	1,208,183	1,059,000	
	次年度繰越金	963,923	1,071,502	966,002	
	支出合計	1,965,923	2,279,685	2,025,002	

皆さまのお祈りのうちに、2013年度東教区女性会会計が守られましたことを、深く感謝申し上げます。ご協力有難うございました。

なお、2014年2月15日に中島美津江、木村富久子両姉の監査を受け承認されました。

支 援 先	金 額
ほしくずの会	20,000
ブラジル伝道	20,000
東京老人ホーム	20,000
東京ベタニア	20,000
千葉ベタニア	20,000
東日本大震災	89,660
神学校	224,016
合 計	413,676

連盟会費	1,305,200
会報購読	106,000
連盟支援	67,000
感謝献金	116,515
サバ支援	248,820
リーストコイン	64,088
合 計	1,907,623

*1 会長会席上献金 65,460
 コーヒーショップ個人献金 11,000
 クリスマスオーナメント他売上金 147,556

現金	66,382	次年度繰越金	1,071,502
通常郵便貯金	1,529,282	積立金残高	482,960
		振込予定	41,202
合 計	1,595,664		1,595,664 (2014.1.21 現在)

*2
 リーストコイン 8,602
 サバ支援 10,500
 連盟活動支援 5,000
 連盟会費 11,700
 同教区会費 5,400
 合計 41,202

定額預金 19期 用いたまえ愛の主よ基金 500,000 円

<積立金会計>

	収入	支出	残高
連盟大会積立金	300,000		300,000
旅費		301,320	-1,320
プール制負担金		15,000	-16,320
12年積立	100,000		83,680
13年積立	100,000		183,680
教区総会積立金	240,000		
総会費		80,720	159,280
12年積立	70,000		229,280
13年積立	70,000		299,280

2013年度ご報告

・東日本大震災支援金送金ご報告

4月13日会長会販売手芸品・若布等にご協力下さり多くの支援金を送ることができましたこと、感謝をもって下記の通りご報告申し上げます。会長会、5月4日東教区50周年記念大会にて販売した手芸品・若布等の売り上げは下記の通り全て支援金として送金いたしました。

ご協力いただきましてありがとうございました。感謝をもってご報告申し上げます。

4月13日 49,650円 (献金800円を含む)

5月4日 122,000円 タオル等販売 9,850円

10月5日 63,020円 (席上献金)、25,000円 (若布等販売)、20,000円 (救援金)

計 289,520円

東京老人ホーム訪問報告

「東京老人ホーム訪問」

石黒優子 (池袋教会)

昨年11月2日東教区女性会の皆様と東京老人ホーム訪問に参加しました。ホーム2階の機能訓練室にて石田せつ子姉の進行で訪問のプログラムが始まりました。高橋睦施設長の沿革と事業内容のお話しをお聞きしました。1923年に事業が始まり現在に至るには、皆さまの祈りと力を尽くして歩んでこられた賜物であると思いました。

2階のホールへ移動して入所者の方々と交流会があり、安田真由子姉のギター演奏を聞きました。美しい調べに入所者の方々と共に同じ音の世界で憩いました。讚美歌の「やすかれ」が演奏された時は、同

じ池袋教会員の入所者ヒルダ姉は故郷のフィンランドを思い出されたことでしょうか。浅野姉の提案によるたたみ染めは8人のグループに分かれて、和紙をきれいな模様染めました。皆さんとても喜ばれて楽しい一時でした。

最後に訪問グループの方々とお茶を頂きながら、東京老人ホームのボランティア活動について、組織とのつながり、現状と活動内容等を大森はつ子姉からお話しをお聞きしました。ボランティア全体の人数43人のうちルーテル教会関係は28人とのことでした。内容は、入浴外介助、見守り、お話し相手、洗濯物のたたみや繕い物、ゴミ集め等があります。私達の持っている時間を少しでも捧げることは大切なことだと思

ながら、東京老人ホームに携わる方々に神様のお守りと祝福がありますように祈り帰宅しました。

このような交流の機会が増えるとボランティアへの関心が増し、お年寄りへの思いやりも深まることと思います。



たたみ染めで作られた
写真立て



安田真由子姉による
クラシックギター演奏

総大会に向けて

「総大会の開催について—小委員会からの提案」

連盟会長 鈴木直子

すでにお知らせしておりますように、来年の総大会においては主に次の四項目について話し合いたいと思います。一項目を1教区が担当します。①役員選挙(東海) ②TNG・次世代育成(西) ③サバ神学院支援(九州) ④連盟総大会の開催(北海道・東)についてです。

すでに各教区役員が中心となり小委員会を立ち上げ話し合いに入っています。私たちは「連盟総大会の開催」を担当します。これは来年東教区が第23期総・大会の現地実行委員会を担当するため、より身近に問題点をとらえられること。また改めればよいことがあれば即実践できると思われるからでした。

今回何故、総大会の開催のありかたが取り上げられたかと申しますと、総大会の開催費用の準備のために毎年90万円が積み立てられています。これは収入額(連盟会費・会報購読料・及び連盟支援献金)の約4分の1を占めています。納入会費は減少しつつも、この90万円は変更せずに積み立てられています。経費につきましては常に節減や見直し等をしてはいますが、今回、総大会の開催についても見直し、会計の負担を減らしたいと考えています。

私たちが総大会開催について検討する主な点は、下記の通りです。

1. 会場について—現行のホテルでの開催を公共の施設に変更する。ホテルの会場借用料は前期は110万円(1泊2日)。これを来年(2泊3日)会場に予定している青少年オリンピックセンターを借りると、半額以下になる。ただし、申し込みをして必ずしも借りられるとは限らないし(10ヶ月前からの申し込み受付)、設営等は自分たちで行うことになる。申し込みが受け付けられないときのために、市ヶ谷教会等にも申し込んでおく。参加者が大勢になった場合のことを考える必要がある。
2. 開催場所について—現行は、北海道を除く各教区を持ち回りで担当している。これを東京→地方→東京→地方と繰り返す。主に交通費の節減のためである。現在東教区からの出席者が最も多く、協力委員や事務局員の交通費等も節減できる。またホテルパックも数が多い。飛行機運賃も地方から東京への便は本数も多く割安である。
3. 交通費支払いについて—現行は、JRでの正規料金を払っているが、今後はジパング会員はそれを使用、駅ネットや格安チケットの利用を呼び掛ける。飛行機も早割の利用をすすめる。
4. 宿泊予約について—各自で行う。
5. 大会開催について—東京開催のときは大会はシンプルに行く。オプションツアーは行わない。
6. その他—参加者(陪席者)について ・大会日程(日数)について 等。

4月会長会において話し合いたいと思います。各女性会でもご討議頂き、当日ご意見をお寄せください。



「いつくしみ」研修会へのご案内

いつくしみ委員会 石飛久子

立春を過ぎたとは言え、厳しい寒さが続きます。皆様お元気でいらっしゃいますか。さて関東いつくしみ委員会では、東教区女性会と共催し、4月26日(土)10時より「ジェンダー」についての研修会を開催いたします。

昨年はLWF/WICASが、本教会のホームページに2回にわたり掲載して下さいました。良く聞く言葉ですが、しっかり理解し行動するために、「ジェンダー」に見識の深い日本聖公会の大岡佐代子先生をお招きし、皆様と共に親しくお話を伺い、私たち自身の見聞を深め、交流のひと時をもちたいと企画しております。

日頃の疑問を解決するための質問も大歓迎です。午後からは東教区会長会が予定されているようですが、会長さんだけでなく、大切なこの時間を、会員の皆様と分かち合いたいと願っております。多くの方のご参加をお待ちいたしております。

今後の予定

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 3月7日(金) | 世界祈祷日 |
| 同日 | ルーテル学院大学・神学校卒業式 |
| 3月21日(祝) | 東教区総会 コーヒーショップ |
| 4月1日(火) | ルーテル学院大学・神学校入学式 |
| 4月26日(土) | 東教区女性会会長会 於)東京池袋教会 |
| 同日 | 「ジェンダー」についての研修会
講師：大岡佐代子 |
| 4月29日(祝) | 全国総会 |
| ～5月1日(木) | |

編集後記

テレビをつけると『ソチ』と『ユキ』。
2月の厳寒の中で22期4号の『シャロンの花だより』は
編集されました。
様々なことが起こるこの社会の中で『神様...』と
祈り始める時、なんと平安が与えられることかと感謝です。
一人でも多くの方がこの恵みに気付けるように、
心から祈ります。(Y. Y)

東教区女性会会報 第84号 (22期 第4号) 2014年3月1日

発行人：日本福音ルーテル女性会連盟 東教区女性会

発行者：浅野聖子 編集：安田やまと